

事務連絡
令和5年3月31日

都道府県下水道担当課長 殿
政令指定都市下水道担当部長 殿
（上記、各地方整備局等経由）
市町村下水道担当部長・課長 殿
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業課長 殿
都市再生機構下水道担当課長 殿

国土交通省水管理・国土保全局下水道部
下水道事業課事業マネジメント推進室課長補佐

下水道工事における安全対策の徹底（その2）について （令和5年3月15日神奈川県横浜市発注の工事に伴う死亡事故）

本年3月15日、神奈川県横浜市発注の開削工法による下水管の布設替え工事において、既設管撤去後の深さ約1.3mの掘削穴の中で、作業員が土留め矢板設置の事前準備として、人孔側面に付着した土を落としていたところ、背後の側面の土砂が崩壊し、土砂に含まれていた路盤と思われる固結した碎石の塊が作業員の腰を強打したことで意識不明となり、救急搬送されましたが、死亡するという事故が発生しました。

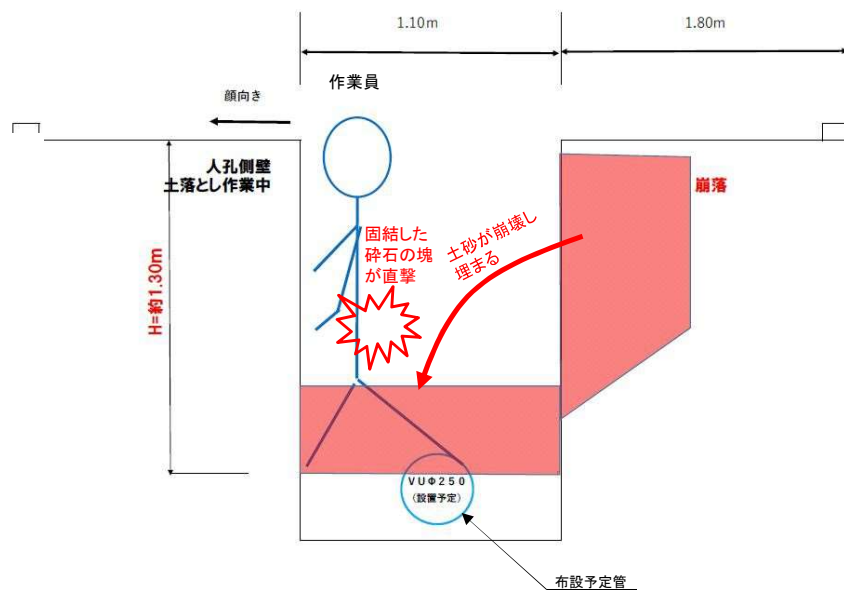
本事案の詳細については現在調査中であり、今後、事故原因や再発防止策等について確認の上、改めて事務連絡を発出します。

発注者におかれましては、下水道工事や維持管理作業の安全管理について、改めて関係者への注意喚起を徹底するなど、事故の未然防止に努めていただくようお願いします。

下水道工事における土砂崩壊事故 (R5.3.15 神奈川県横浜市)

- 発生日 : 令和5年3月15日(水) 午後0時10分頃
- 発生場所 : 神奈川県横浜市緑区鴨居三丁目34-5地先
- 報道 : あり
- 工事概要 : 下水道管布設替え工事 開削工 L=136.6m 他
- 事故内容 : 開削工法による下水管の布設替え工事において、既設管撤去後の深さ約1.3mの掘削穴の中で、作業員が土留め矢板設置の事前作業のため、人孔側面に付着した土を落としていたところ、背後の側面の土砂が崩壊し、土砂に含まれていた路盤と思われる固結した碎石の塊(幅約600mm×長さ約800mm×厚さ約250mm)が作業員の腰を強打し意識不明となった。別の作業員により掘削穴から救助され救急搬送されたが、死亡が確認された。

【状況図】



【位置図】



【状況写真】



側面の土砂が崩落し、固結した碎石の塊が作業員に当たった